



2024年度
(令和6年度)

事業計画

2024年4月1日～2025年3月31日

公益財団法人 藤沢市保健医療財団

目次

I	はじめに.....	1
II	事業計画の体系.....	2
III	事業計画の基本方針.....	3
IV	2024年度の重点的な取組項目.....	5
V	事業計画.....	7
1	健診・健康づくり事業【公益目的事業1】.....	7
2	介護保険事業【公益目的事業2】.....	17
3	保険調剤薬局運営事業【公益目的事業3】.....	19
4	法人の運営に関する事業.....	21
VI	機器更新・施設修繕等.....	22
1	機器等更新予定.....	22
2	施設修繕等予定.....	22
資料	23
別表1	健診・検診、検査外来実施計画.....	23
別表2	保健事業実施計画.....	24
別表3	役員及び評議員.....	25
別表4	組織図.....	27

1 はじめに

公益財団法人藤沢市保健医療財団（以下、「財団」という。）は、保健と医療と福祉の機能を一体化させ、健康づくりの拠点施設として、1993年の設立以来、30年間にわたり、利用者の皆様の健康づくりに貢献してまいりました。

30周年を迎えた2023年度は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症相当に移行され、本格的な「With コロナ時代」が幕を開けました。2024年度は、コロナ禍の経験を生かすとともに、コロナ禍による利用者ニーズの変化を的確に捉えて、財団の基本理念・基本方針に則り、効果的・効率的な事業展開に取り組んでまいります。

国は、2024年度に「健康日本21（第三次）」をスタートします。計画は、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとし、人生100年時代を迎え、各人の健康問題が多様化していることを踏まえ、「誰一人取り残さない健康づくり」を推進すること、また、さらなる生活習慣の改善を含めて個人の行動と健康状態の改善を促す必要があり、このため、「より実効性をもつ取組の推進」に重点を置くこととしています。財団としては、国の計画及び藤沢市の健康増進計画と歩調を合わせ、「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」の3つの視点から、それぞれの事業に取り組んでまいります。

また、経営状況は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、こまよせ薬局の処方せん枚数が好調に推移していますが、人材不足、人件費や物価の高騰、医薬品不足など、経営状況を左右する諸課題が懸念されます。より良いサービスの効果的な提供、並びに、公益目的事業の収支の健全性に向けて、引き続き、収入の安定確保を図るとともに、経営改善に努め、継続的かつ安定的な経営基盤の確立に取り組んでまいります。

コロナ禍を経験し、健康に対する意識が高まっている「今」を、新たな一步を踏み出すための良い機会と考え、時代（次代）のニーズを適確に捉えたうえで、健康増進の総合的な推進を目的に、2024年度事業を展開いたします。

II 事業計画の体系

2024年度事業計画

<事業展開の視点>

- 1 誰一人取り残さない健康づくりの展開
- 2 実効性のある取組の推進
 - (1) 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
 - (2) 個人の行動と健康状態の改善
 - (3) 個人を取り巻く環境の質の向上
 - (4) ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり
 - (5) コロナ禍の経験を踏まえた取組

- ◇ 健康日本21（第三次）
- ◇ 藤沢市健康増進計画（第2次）
- ◇ その他 関係法令・行政計画等

財団基本方針

- 1 私たちは、受診者の皆様の人権を尊重し、思いやりの心を持って、安全で納得していただける医療を目指します。
- 2 私たちは、生活習慣病の予防改善、介護予防を中心とした、質の高い、総合的で専門的なサービスを提供するとともに、地域医療機関と連携して市民の健康づくりを支援します。
- 3 私たちは、保健医療財団の健全な運営を心がけ、地域から信頼される施設になるべく、日々努力していきます。

財団基本理念

全ての市民が生涯にわたり、健やかで心豊かに生活できるよう市民の健康維持及び健康増進と福祉の向上に寄与します。

III 事業計画の基本方針

2020年1月15日、日本で初めての新型コロナウイルス感染症の感染者が神奈川県で発生しました。以来、2023年5月8日の5類感染症移行に至るまで、否応なしに財団も渦中に巻き込まれ、その後も少なからず影響を受け続けています。

2024年度は、国がスタートさせる「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21（第三次））」並びに「藤沢市健康増進計画（第2次）」の考え方にに基づき、コロナ禍による利用者ニーズの変化を的確に捉えて、財団の基本理念・基本方針に則り、効果的・効率的な事業展開に取り組みます。

また、国において、公益法人認定制度改正が検討されていることから、経過を注視するとともに、臨機応変に対応できるよう準備を進めます。

1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小

健康寿命については、住民の認知度が高いこと、2040年までの延伸計画が定められていること、また、その延伸は藤沢市の取組目標の一つであることなどから、健診・健康づくり事業をはじめ、すべての事業を通じて、健康寿命の延伸等と健康格差（地域や生活環境等の違いによる健康状態の差）の縮小に取り組みます。

2 個人の行動と健康状態の改善

生活習慣の定着等による生活習慣病（NCDs）の発症予防や重症化予防を目的として、個人の栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康に関する習慣など、個人の健康状態を改善するための啓発等に取り組みます。

3 個人を取り巻く環境の質の向上

自然に健康になれる環境づくりとして、身体活動や運動に取り組みやすい環境を提供するとともに、誰もがアクセスしやすい健康増進のための基盤整備として、行政や民間団体、企業、地域等との連携強化とその活用に取り組みます。

4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

本格的に到来する「人生100年時代」、並びに、健康に対する意識の変化やニーズの多様化等を踏まえ、ライフコースアプローチ（胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり）について、それぞれのライフステージを考慮した健康づくり、フレイル予防、健康に関心のない人たちへのアプローチ、さらには突然死の予防に取り組みます。

5 財団機能の強化や運営の効率化に向けた取組

- (1) 公益法人に関する法令等の改正を注視しながら、一層の健全経営に取り組みます。
- (2) 経営の透明性を堅持し、公益財団法人の責任を果たします。
- (3) 公益財団法人として、公益目的事業を充実するとともに、持続可能な事業運営を推進します。
- (4) 民間法人としての自主性・柔軟性を生かし、時代（次代）のニーズを的確に捉えた上で、積極的に事業を展開します。
- (5) 行政や民間、地域との連携（役割）のもとで、事業の充実・改善・再構築を進めます。
- (6) 市民や利用者、関係機関や関係団体等から信頼され、評価される財団運営に努めます。

IV 2024年度の重点的な取組項目

1 組織改正

(1) 医療事業課業務と総務課業務の再編

医療事業部のシステムを担当する医療事業課システム担当を、総務課総務担当に移管し、財団のシステム全般の総合的な管理（セキュリティーを含む）を行うとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル技術による仕事環境の変容）の推進に向けて検討を進めます。

2 財団機能の強化や運営の効率化に向けた取組

(1) 健診項目の追加

市受託事業（胃がんX線検診）を開始します。

(2) 「指定運動療法施設」利用者の受入

指定運動療法施設に認定されることから、利用者の受入を開始します。

(3) 訪問看護の24時間対応の再開

2018年4月に休止した訪問看護の24時間対応について、秋頃から再開できるよう準備を進めます。

(4) 検査室の増設

協会けんぽの付加健診の対象者が拡大されるため、検査室を2室から3室に増やし、検査体制を充実させます。（5月の連休後を予定）

(5) 繁忙期の健診体制の充実

繁忙期（原則80件以上）は、木曜日を除き、8時45分からの2診体制とします。 ※木曜日は、9時30分から診察を開始し3診体制とします。

(6) 健診者への案内・誘導の充実

特に計測等に健診者が滞留しないよう、空いている検査への案内・誘導係（コンシェルジュ）を受付職員が担当し充実させます。

(7) 利用者意見の把握方法の改善

「総合健診アンケート」について、より効果的・効率的に活用するため項目等の見直しを進めます。また、利用者からのご意見（ご意見箱、電話、メール等）について、財団内部での情報の共有化を充実させます。

(8) 「レディスDay」の検討

利用しやすい環境づくりの一環として、「レディスDay」を設けることについて、検討を開始します。

(9) 検査外来の結果報告の変更

検査外来結果（CD・読影レポート等）の報告について、従来の配送委託から、CDは本人に直接手渡し、レポートは郵送に変更します。
（北部地区の医療機関へは、職員による配送を併用します）

(10) 配付物品の廃止

総合健診後の「水（ペットボトル）とパンフレット等」の配付を廃止します。
（飲料自販機に使用できるコインの配付は継続）

(11) 外部委託による業務軽減

公益法人認定制度の改正に伴い、法人認定や予算・決算に係る支援業務委託を開始します。

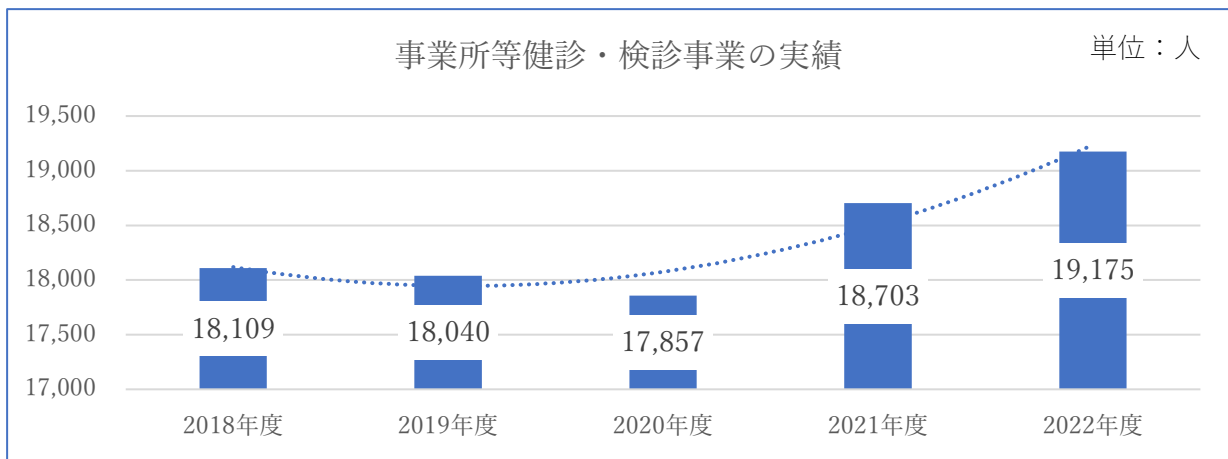
V 事業計画

1 健診・健康づくり事業【公益目的事業1】

(1) 事業所等健診・検診事業

事業所等の健康保険組合員やその家族等の健康診断を行い、生活習慣病の予防改善を推進します。受診者、事業所等の要望に応えられるよう、柔軟な予約体制の工夫などにより受診しやすい環境を整えるとともに、健診単価を見直します。

また、高度医療機器を有効活用し、市民や利用者の疾病の早期発見と予防に取り組みます。



① 一般健康診断（労働安全衛生法による健康診断）

◇対象者：事業所等の勤労者など

一般健康診断	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	9,900人	101.0%	9,800人	9,610人

② 健康保険組合健康診断（総合健診）

◇対象者：健康保険組合の被保険者及び配偶者

健康保険組合健康診断 (総合健診)	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	2,800人	103.7%	2,700人	2,704人

③ 全国健康保険協会（協会けんぽ）生活習慣病予防健診

◇対象者：協会けんぽの被保険者

生活習慣病予防健診	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	6,000人	101.7%	5,900人	5,815人

④ シニア健診

◇対象者：61歳以上の希望者

シニア健診	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	140人	116.7%	120人	136人

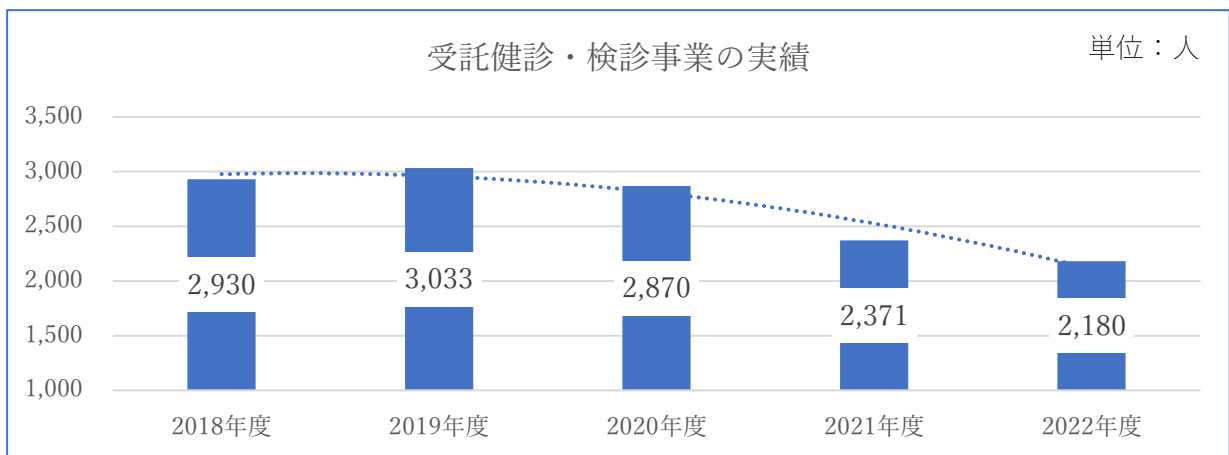
⑤ 特定健康診査（社保）

◇対象者：国保を除く健康保険の被保険者の被扶養者

特定健康診査（社保）	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	200人	111.1%	180人	188人

(2) 受託健診・検診事業

ハガキによる受診勧奨以外にも、市と協力し、市民への情報提供を積極的に行い、受診者数確保に努めます。また、利用者が減少傾向にある乳がん検診は、利用者の利便性を考慮して、日曜検診を2日から3日に拡充します。加えて、2024年度から「藤沢市胃がんX線検診」を開始します。



① ヘルスチェック（健康度測定等）

◇対象者：国保加入者（30歳代）

ヘルスチェック	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	700人	87.5%	800人	712人

② 藤沢市乳がん検診（マンモグラフィ検査）

◇対象者：市内在住者（30歳以上の偶数年齢）

藤沢市乳がん検診	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	1,250人	96.2%	1,300人	1,097人

※日曜検診を2日から3日に拡充

③ 藤沢市胃がんX線検診

◇対象者：市内在住者

藤沢市胃がんX線検診	2024年度			
	計画数	前年度比		
	100人	-		

④ 学童検診（糖尿病検診、腎臓病検診）

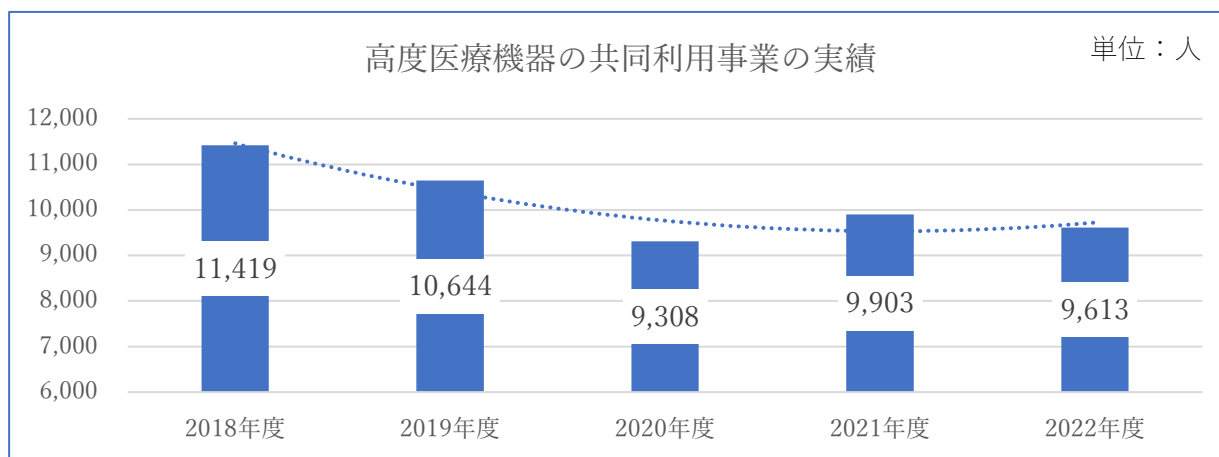
◇対象者：教育委員会から指定された児童・生徒

学童検診	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	25人	83.3%	30人	21人

(3) 高度医療機器の共同利用事業

医療機関との信頼関係の強化に取り組むとともに、高度医療機器共同利用施設の開設の影響を最小限に抑えるよう、所内発生検査に積極的に取り組みます。

また、健診事業で単独コースの設定に取り組み、検査枠を有効に活用し、機器利用を促進します。

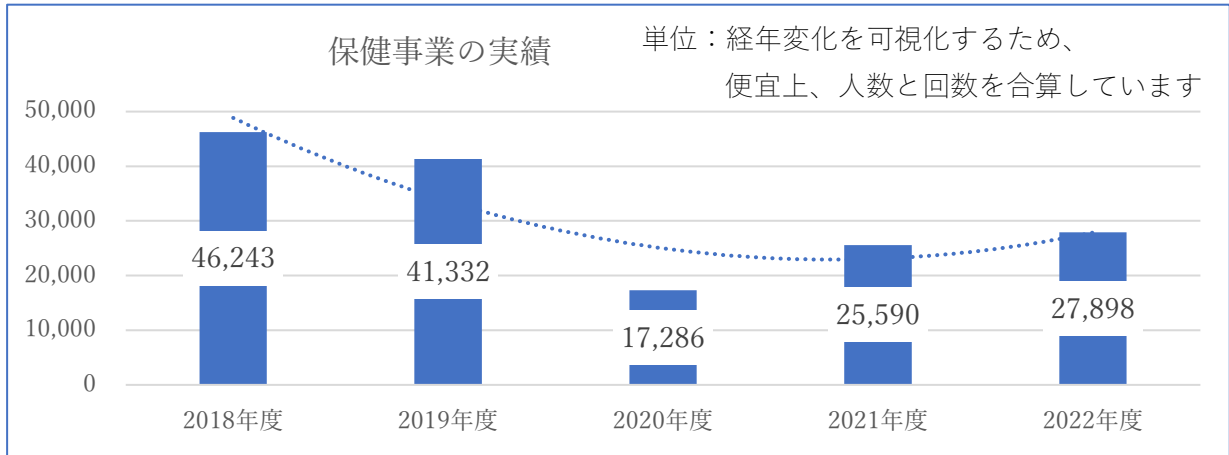


○検査外来

学童検診	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
MR I 検査	2,950 人	92.2 %	3,200 人	2,564 人
CT 検査	2,800 人	103.7 %	2,700 人	2,651 人
肺がん、結核二次検診	500 人	100.0 %	500 人	402 人
超音波検査	1,700 人	85.0 %	2,000 人	1,549 人
乳房検査	700 人	100.0 %	700 人	614 人
内視鏡検査 (上部)	40 人	57.1 %	70 人	33 人
骨密度測定	100 人	166.7 %	60 人	80 人
その他の各種検査	550 人	91.7 %	600 人	489 人
合計	9,340 人	95.0 %	9,830 人	8,382 人

(4) 保健事業

藤沢市健康増進計画（第2次）の実施評価を受け、健康日本21（第三次）を考慮し、生活習慣病予防、重症化予防、フレイル予防事業について、ハイリスクアプローチ、並びに、アウトリーチ支援として取り組みます。



① 健康増進事業（健康づくり個別支援事業）

市民が、自らの健康状態に気づく機会を得られるよう、健康診断の受診勧奨や健康づくりへの動機付けとなる生活習慣病予防・重症化予防の普及活動、健康情報の提供などを行い、健康寿命の延伸をめざします。

①-1 健康支援プログラム事業【受託事業：健康づくり課】

健康診断の結果や個々の健康状態に合わせた生活習慣改善、並びに、実践方法の習得を支援する6ヶ月間のプログラムです。

健康支援プログラム	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	200人	100.0%	200人	183人

①-2 生活習慣病予防等事業【受託事業：健康づくり課】

病態に応じた生活習慣の具体的改善方法を習得するための講座、並びに、相談事業です。なお、前年度比較をわかりやすくするため、単位を「人」から「回」に変更します。

生活習慣病予防等事業	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	66回	91.7%	72回	47回

①-3 健康度・体力度チェック、体カテスト【受託事業：健康づくり課】

運動前の健康チェックです。疾患の有無や状態、体カレベルを把握し、安全に運動を行えることを確認します。必要に応じて検査や医療機関の受診を勧めます。

事業名	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
健康度チェック	40人	100.0%	40人	11人
体力度チェック	350人	87.5%	400人	202人
体カテスト	400人	160.0%	250人	166人

①-4 健康づくりトレーニング【受託事業：健康づくり課】

生活習慣病予防及び体カ向上を目的に行うトレーニングです。

健康づくりトレーニング	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	21,000人	100.0%	21,000人	16,747人

①-5 各種健康保険組合被保険者への支援【自主事業】

各種健康保険組合被保険者を対象とした特定保健指導です。

各種健康保険組合被保険者の特定保健指導	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	200人	2500.0%	8人	61人

② 健康づくり地域普及事業

地域の身近な場所での生活習慣病予防講座や健康づくり支援のほか、後期高齢者の糖尿病重症化予防、並びに、フレイル予防をめざします。

②-1 地域支援事業【受託事業：健康づくり課】

市内各地域に出向き、生活習慣病予防講座やイベントでの健康チェック、身体活動促進啓発、並びに、健康づくりボランティア等の人材育成を行う事業です。

なお、前年度比較をわかりやすくするため、単位を「人」から「回」に変更します。

地域支援事業	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	140回	102.2%	137回	106回

②-2 後期高齢者保健事業【受託事業：健康づくり課】

後期高齢者に対する糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラム、並びに、高齢者が集まる場等におけるフレイル予防の普及啓発を行う事業です。

なお、フレイル予防については、前年比較をわかりやすくするため、単位を「人」から「回」に変更します。

事業名	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
糖尿病性腎症重症化予防 保健指導プログラム	10人	100.0%	10人	7人
フレイル予防	28回	215.4%	13回	10回

②-3 健康寿命延伸支援事業【自主事業】

受託事業以外の健康づくりに関する講師派遣、並びに、センター内で実施する運動教室（ウェルネスプログラム）です。

なお、講師派遣については、前年比較をわかりやすくするため、単位を「人」から「回」に変更します。

事業名	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
講師派遣	20回	100.0%	20回	14回
運動教室 (ウェルネスプログラム)	600人	—	年度途中で 再開	376人

②-4 調査・研究事業【自主事業】

神奈川県、大学、健康関連団体等と連携し、市民の健康づくりに貢献することを目的とする「調査」「研究」を行う事業です。

調査・研究	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	7回	100.0%	7回	6回

③ 介護予防・障がい者の支援に関する事業

高齢者の要介護状態の発生や悪化を防ぎ、介護を必要としない生活をめざすとともに、障がい者や高齢者が日常生活を快適に過ごせるよう、トレーニング事業、講座、相談事業などを行います。

③-1 コンディショニングトレーニング【自主事業】

介護予防を目的とする集団運動トレーニングです。

コンディショニング トレーニング	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	6,000人	100.0%	6,000人	5,183人

③-2 介護予防事業【受託事業：高齢者支援課】

介護予防のための、転倒予防講座、個別、並びに、集団運動支援等の事業です。

介護予防事業	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	250回	104.2%	240回	223回

③-3 障がい者等生活改善相談【受託事業：障がい者支援課】

障がい児者や身体機能の低下により日常生活に不便さを感じている方、並びに、その家族や介護者に対する相談事業です。

障がい者等生活改善相談	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	85回	106.3%	80回	96回

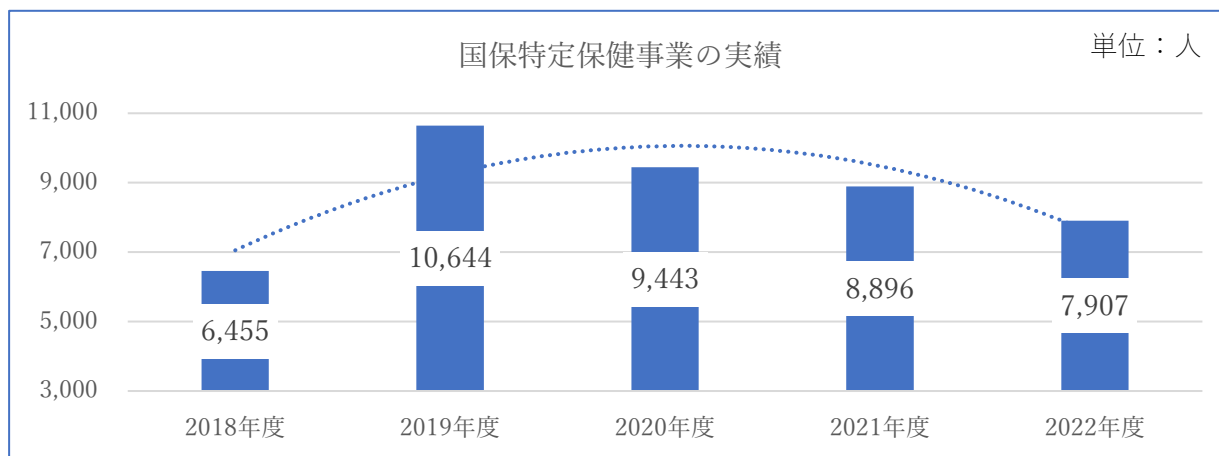
③-4 藤沢市介護保険住宅改修等点検事業【受託事業：介護保険課】

介護保険を利用した住宅改修や福祉用具貸与について、給付の適正化を目的に申請書類の点検や実地調査を行う事業です。

藤沢市介護保険 住宅改修等点検事業	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	44回	88.0%	50回	28回

(5) 国保特定保健事業

「第3期 藤沢市国民健康保険保健事業実施計画」及び「第4期 藤沢市特定健康診査等実施計画」を考慮し、こくほ健康診査、ヘルスチェック、健診後の保健指導、糖尿病の重症化予防に向けた保健指導に取り組みます。



① 特定保健指導等業務

藤沢市国民健康保険（以下「藤沢市国保」という。）被保険者に対し、特定保健指導、並びに、生活習慣病や糖尿病の重症化予防支援を行い、対象者自らが健康管理できるようになることをめざします。

①-1 特定保健指導【受託事業：健康づくり課】

藤沢市国保被保険者への特定保健指導、並びに、利用勧奨のほか、特定保健指導実務機関を対象とした研修会を行う事業です。

なお、実務機関研修会については、前年比較をわかりやすくするため、単位を「人」から「回」に変更します。

事業名	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
動機付け支援	170人	100.0%	170人	57人
積極的支援	30人	100.0%	30人	8人
特定保健指導利用勧奨	2,000人	100.0%	2,000人	1,514人
実務機関研修会	2回	100.0%	2回	2回

①-2 生活習慣病重症化予防業務【受託事業：健康づくり課】

前年度の特定健康診査受診者のうち、医療機関受診勧奨対象者に対する受診勧奨、並びに、受診勧奨後の受診状況の確認業務です。

事業名	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
医療機関受診勧奨	2,000人	100.0%	2,000人	1,198人
受診状況の確認	2,500人	100.0%	2,500人	2,060人

①-3 糖尿病性腎症等重症化予防保健指導プログラム【受託事業：健康づくり課】

糖尿病の通院治療中で疾病が重症化する可能性の高い人に対し、食事や運動等の生活習慣改善を支援し、人工透析等重篤な状態を予防する事業です。

事業名	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
保健指導プログラム	30人	100.0%	30人	20人
プログラムの利用勧奨	210人	100.0%	210人	147人

② 国保ヘルスチェック事業【受託事業：健康づくり課】

藤沢市国保被保険者のうち、31歳から39歳までの方を対象とするヘルスチェック健診後の健康支援（通信支援）、並びに、保健指導等を行う事業です。

事業名	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
ヘルスチェック健康支援	1,000人	100.0%	1,000人	712人
保健指導	15人	100.0%	15人	9人
健診未受診者への受診勧奨	6,000人	100.0%	6,000人	4,509人
保健指導利用勧奨・受診勧奨	200人	100.0%	200人	184人

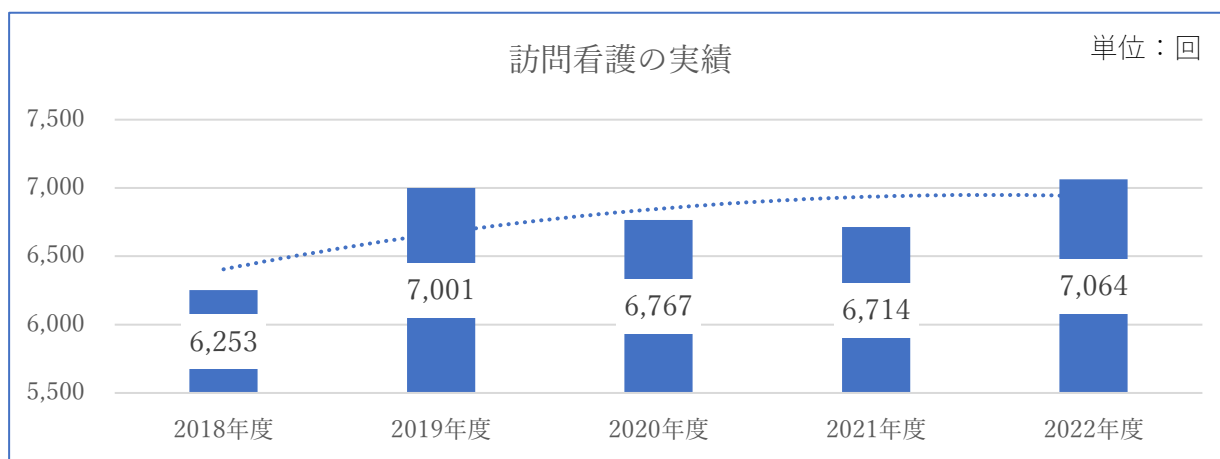
2 介護保険事業【公益目的事業2】

(1) 訪問看護ステーションの運営に関する事業

訪問看護ステーションは、要支援・要介護状態にある在宅介護の高齢者や疾病等により在宅療養を必要とする方に対し、介護保険法及び健康保険法等による訪問看護、訪問リハビリのサービスを提供しています。利用者の心身の特性を踏まえて、生活の質の確保を重視し、健康管理、全体的な日常動作の維持・回復を図るとともに、在宅医療を推進し快適な在宅療養が継続できるよう支援します。

また、今年度秋に予定されている、訪問看護レセプト(医療請求分)のオンライン請求・オンライン資格確認の義務化に伴い、そのための準備を進め対応を図ります。

さらに、利用者確保に向け常勤職員の充実を図り、秋口を目途に24時間対応を再開します。

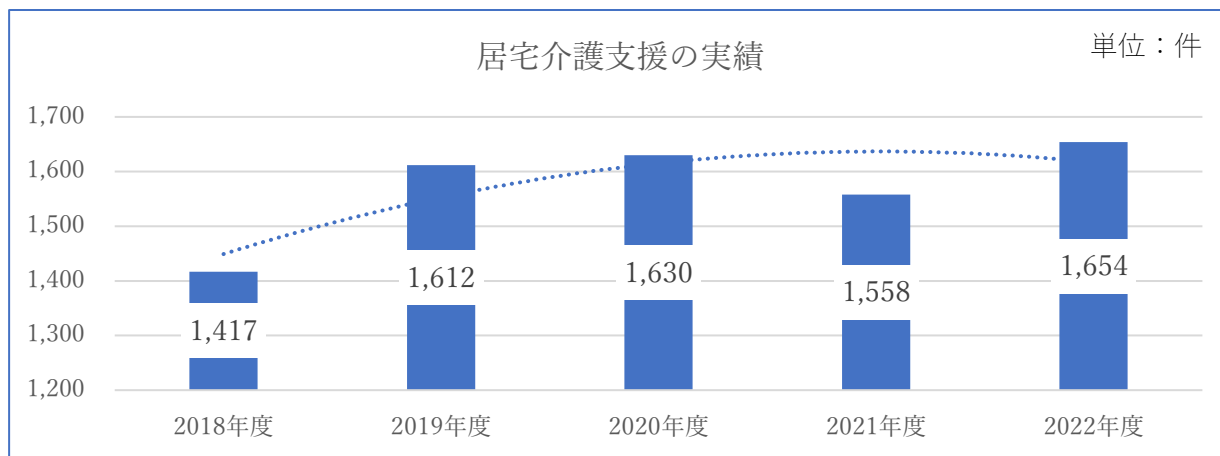


訪問看護・リハビリ	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	7,100回	101.4%	7,000回	5,908回

(2) 居宅介護支援に関する事業

居宅介護支援事業所は、介護保険法に基づき利用者が自宅での生活が続けられるよう居宅訪問等を行い、生活上の問題点を把握し、ケアプランの作成を通して在宅療養者への適切な支援に努めています。

利用者が安心して在宅生活を継続できるよう関係機関と緊密な連携を図り、介護保険サービスのみでなく地域ごとの社会資源の活用と調整に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取り組みにも尽力していきます。



① ケアプランの作成

要介護高齢者等からの依頼を受けて居宅サービス計画を作成するとともに、その計画に基づき適切な居宅サービスの提供が確保されるよう、サービス提供事業者等との連絡調整や計画の管理を行います。

2024年度は、ケアマネジャー2人の退職に伴う今後の採用状況が不明確なため、計画数を減少させています。

ケアプランの作成	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	1,394件	82.0%	1,700件	1,507件

② 認定調査

新規、更新（6ヶ月、1・2年の期間更新）、変更などの申請に基づき、市からの認定調査依頼を受け、本人や家族の立ち会いのもとに、訪問調査（要介護認定調査票の作成など）を行います。計画数の減少の理由については、①と同様です。

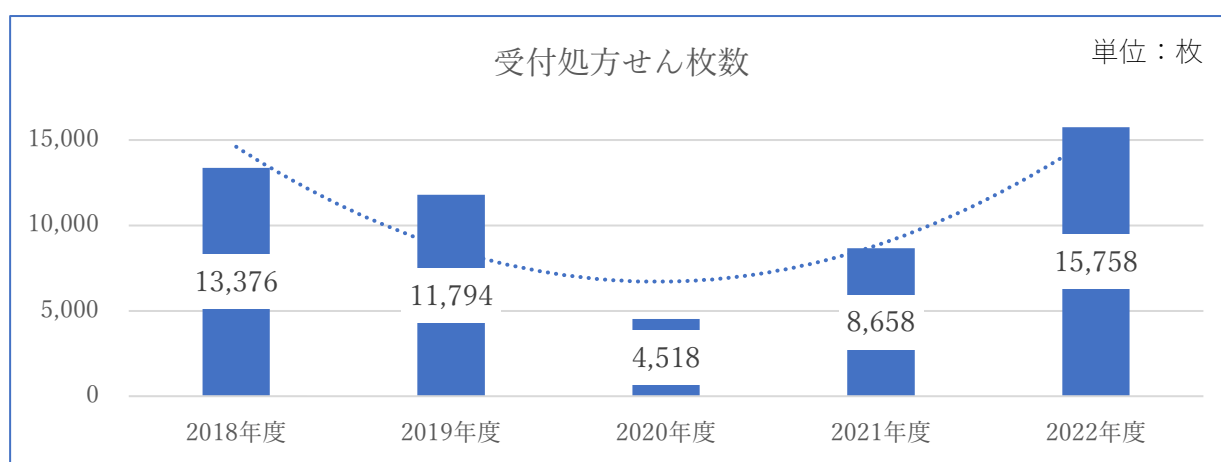
認定調査	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	120件	85.7%	140件	132件

3 保険調剤薬局運営事業【公益目的事業3】

(1) 保険調剤薬局の運営に関する事業

藤沢市こまよせ薬局では、調剤、服薬指導、投薬、薬歴管理、医薬品情報の収集等の管理業務を行っています。処方せん枚数、売り上げは、新型コロナウイルス、インフルエンザ等、感染症の流行に左右されますが、患者の待ち時間や調剤に従事する薬剤師、事務員の負担を考慮して、人員の増員等について、関係機関と連携しながら柔軟に対応してまいります。

加えて、休日夜間診療調剤で使用している一部の薬品について、出荷調整のため入手困難となっている場合がありますが、関係機関と調整して対応してまいります。



◇ 藤沢市こまよせ薬局 開局（業務）時間

- ① 平日（月～金） 8時30分～12時、13時～17時、20時～23時
- ② 土曜日 18時～23時
- ③ 休日 9時～17時、18時～23時

※平日夜間、土・休日の調剤及び服薬指導等の業務については、藤沢市薬剤師会へ委託して運営しています。

◇ 藤沢市医師会北休日夜間急病診療所

- ① 平日夜間 20時～23時
- ② 休日昼間 9時～17時
- ③ 土・休日夜間 18時～23時

※23時～翌7時30分までは、院内処方対応

◇ 藤沢市医師会北休日夜間急病診療所耳鼻科（広域救急）

- 休日昼間 9時～17時

◇藤沢市北部歯科診療所（障がい者歯科・要介護高齢者歯科）

- ① 障がい者歯科 木・土曜日 13時～17時
- ② 要介護高齢者歯科 木・日曜日 9時30分～12時30分

調剤等業務 (受付処方せん数)	2024年度		2023年度	
	計画数	前年度比	計画数	2月末実績
	15,000件	125.0%	12,000件	16,941件

4 法人の運営に関する事業

(1) 健康増進の総合的な推進

2024 年度からの健康日本 2 1（第三次）及び 2025 年度からの藤沢市健康増進計画（第 3 次）の目標を勘案するとともに、関連する計画等との調和に配慮しつつ、具体的な目標値を設定して事業を展開します。

(2) 利用者本位の財団運営（利用者サービスの向上等）

利用者アンケートの結果を分析し課題を改善するとともに、女性が利用しやすい健診・検診環境の充実、待ち時間の縮小、オプション検査の充実、接遇の向上など、利用者本位の財団運営に取り組みます。

(3) 行政・関係機関・関係団体・地域との連携

保健・医療・福祉が連携する健康づくりの拠点施設として、藤沢市・医師会・歯科医師会・薬剤師会はもとより、教育・研究機関や地域団体、NPO、福祉関連法人との実際的な連携を強化し、幅広い視点から市民の健康づくりに取り組みます。

(4) 時代（次代）のニーズを捉えた持続可能な事業展開

2040 年問題を踏まえ、生活習慣病予防・重症化予防・フレイル対策など、高齢者への保健指導と介護予防の一体的な支援を充実させます。加えて、突然死の予防のための取組を充実させます。

(5) 効果的・効率的な財団運営（ICTの活用等）

市民の健康づくりに関する“気づき”に貢献するとともに、各事業につなげるため、ナッジ理論（人間の自発性に対して望ましい影響を与える）を活用した情報提供に取り組みます。

また、施設利用の利便性を向上させるための ICT の有効活用を検討します。

(6) 財団の健全経営

公益財団法人として、「公益目的事業の適正な実施による公益の推進」を図るべく、公益認定基準やガバナンスに適合した法人運営を推進します。

また、積極的な財源確保、事業収入の精査・確保と経費の削減に努め、効果的・効率的な経営を展開するとともに、藤沢市からの受託業務や適正な補助金を確保し、安定的な経営基盤の強化を図ります。加えて、適切に収支状況を把握し、財務情報の透明化や、わかりやすい情報開示に努めます。

(7) 人材確保と職員の資質向上

人材不足が社会問題となる中、効果的な事例などを参考にしながら、優秀な人材の確保に取り組みます。また、職場研修やキャリアアップ研修などを通じて、職員全体のレベルアップを図るとともに、職員個人の能力の向上や人材育成に視点をおく人事評価制度などにより、優秀な人材の定着・育成に取り組みます。

加えて、利用者サービスの向上につなげるため、職員が常に高いモチベーションを維持できる「職場環境づくり」に努めます。

(8) 中・長期的な課題（本計画期間中に取り組む課題）

- ① 訪問看護の24時間緊急対応の再開
→2024年度秋頃の実施をめざします。
- ② 施設の老朽化への対応
→市との情報・意見交換を継続します。

VI 機器更新・施設修繕等

1 機器等更新予定（主なもの）

- (1) CT撮影装置
- (2) 自動オージオメーター（コントローラーのみ）
- (3) 新紙幣対応自動券売機（保健事業）

2 施設修繕等予定（主なもの）

- (1) 蓄熱槽水処理装置（財団）
- (2) その他

2024年度 健診・検診、検査外来実施計画

事業区分		2024年度 計画数	2023年度 計画数	前年度比	
事業所等 健診・ 検診事業	一般健康診断	9,900	9,800	101.0%	
	健康保険組合健康診断(総合健診)	2,800	2,700	103.7%	
	協会けんぽ生活習慣病予防健診	6,000	5,900	101.7%	
	シニア健診	140	120	116.7%	
	特定健康診査(社保)	200	180	111.1%	
	計	19,040	18,700	101.8%	
受託健診・ 検診事業	ヘルスチェック(国保加入者)	700	800	87.5%	
	乳がん検診	1,250	1,300	96.2%	
	胃がん検診	100	—	—	
	学童検診	25	30	83.3%	
	計	2,075	2,130	97.4%	
高度医療機器の 共同利用事業	検査外来	MRI検査	2,950	3,200	92.2%
		CT検査	2,800	2,700	103.7%
		肺がん、結核二次検診	500	500	100.0%
		超音波検査	1,700	2,000	85.0%
		乳房検査	700	700	100.0%
		内視鏡検査(上部)	40	70	57.1%
		骨密度測定	100	60	166.7%
		その他の各種検査	550	600	91.7%
計	9,340	9,830	95.0%		
合計		30,455	30,660	99.3%	

2024年度 保健事業実施計画

事業名	区分	主な内容	単位	2024年度 計画数	2023年度 計画数	前年度比
保健事業						
健康づくり個別支援事業						
健康支援プログラム事業	受託	健康づくり目標の達成に向けた、個別健康支援	人	200	200	100.0%
生活習慣病予防等事業	受託	病態に応じた生活習慣の具体的改善方法を習得する講座及び相談	回	66	72	91.7%
健康度チェック	受託	運動前もしくは受診機会のない方向けの健診	人	40	40	100.0%
体力度チェック	受託	運動前の健康チェック及び体力レベルの評価	人	350	400	87.5%
体力テスト	受託	体力レベルの評価	人	400	250	160.0%
健康づくりトレーニング	受託	生活習慣病予防及び体力向上を目的に行うトレーニング	人	21,000	21,000	100.0%
各種健康保険組合被保険者への支援	自主	各種健康保険組合被保険者への特定保健指導	人	200	8	2500.0%
健康づくり地域普及事業						
地域支援事業	受託	市内各地域で行う生活習慣病の予防講座及びイベント等での健康チェック	回	140	137	102.2%
後期高齢者保健事業（糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラム）	受託	糖尿病のハイリスク者への生活習慣改善支援	人	10	10	100.0%
後期高齢者保健事業（フレイル予防事業）	受託	後期高齢者に対するフレイル予防の普及啓発	回	28	13	215.4%
健康寿命延伸支援事業（講師派遣）	自主	受託事業以外の健康づくりに関する講師派遣	回	20	20	100.0%
健康寿命延伸支援事業（ウェルネスプログラム）	自主	施設内で実施する運動教室	人	600	-	
調査・研究事業	自主	神奈川県や大学等との調査・研究の連携	回	7	7	100.0%
介護予防・障がい者の支援に関する事業						
コンディショニングトレーニング	自主	介護予防を目的とした集団型トレーニング	人	6,000	6,000	100.0%
介護予防事業	受託	転倒予防講座や介護予防の個別・集団運動支援等	回	250	240	104.2%
障がい者等生活改善相談	受託	障害者・高齢者等の日常生活動作の向上を図るための相談事業	回	85	80	106.3%
介護保険住宅改修等点検事業	受託	介護保険サービスを利用した住宅改修点検及び福祉用具貸与についての実地調査	回	44	50	88.0%
国保特定保健事業						
特定保健指導等業務						
特定保健指導 動機付け支援	受託	メタボリックシンドローム予備群の人への健康支援	人	170	170	100.0%
特定保健指導 積極的支援	受託	メタボリックシンドロームの人への健康支援	人	30	30	100.0%
特定保健指導利用勧奨	受託	特定保健指導対象者への電話による利用勧奨	人	2,000	2,000	100.0%
実務機関研修会	受託	特定保健指導実施医療機関への研修会	回	2	2	100.0%
生活習慣病予防等事業（受診勧奨）	受託	前年度の特定健康診査受診者のうち、医療機関受診勧奨対象者に対する受診勧奨	人	2,000	2,000	100.0%
生活習慣病予防等事業（受診状況確認）	受託	受診勧奨後の受診状況の確認	人	2,500	2,500	100.0%
糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラム	受託	糖尿病のハイリスク者への生活習慣改善支援	人	30	30	100.0%
糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラム（利用勧奨）	受託	糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラムへの利用勧奨	人	210	210	100.0%
ヘルスチェック事業						
ヘルスチェック健康支援	受託	ヘルスチェック健診の結果及び質問票に基づいた健康支援（通信支援）	人	1,000	1,000	100.0%
保健指導業務	受託	階層化により対象となった方への藤沢市特定保健指導に準じた保健指導	人	15	15	100.0%
健診未受診者への受診勧奨	受託	ヘルスチェック健診未受診者への受診勧奨	人	6,000	6,000	100.0%
保健指導利用勧奨・受診勧奨	受託	ヘルスチェック健診の結果による要保健指導、要医療となった方への利用勧奨・受診勧奨	人	200	200	100.0%

役員及び評議員

1 役員（理事 14 人、監事 2 人）

2024 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	役員就任年月日	現 職
理 事 長	平岩 多恵子	2023 年 6 月 16 日	藤沢市保健医療センター参与
副理事長	石原 宏尚	2023 年 6 月 16 日	藤沢市医師会会長
副理事長	山田 峰彦	2023 年 8 月 2 日	藤沢市医師会副会長
専務理事	姫野 秀朗	2023 年 6 月 16 日	藤沢市保健医療センター所長
常務理事	池田 潔	2023 年 6 月 16 日	藤沢市保健医療センター管理部長
理 事	上野 淳	2023 年 6 月 16 日	藤沢市保健医療センター副所長
理 事	加藤 葉子	2023 年 8 月 2 日	藤沢市医師会副会長
理 事	今村 周	2023 年 8 月 2 日	藤沢市医師会理事
理 事	吉田 耕一	2023 年 6 月 16 日	藤沢市歯科医師会会長
理 事	永村 宗護	2023 年 6 月 16 日	藤沢市歯科医師会副会長
理 事	村上 和宣	2023 年 8 月 2 日	藤沢市薬剤師会会長
理 事	大島 崇弘	2023 年 8 月 2 日	藤沢市薬剤師会副会長
理 事	阿南 弥生子	2023 年 6 月 16 日	藤沢市健康医療部保健所長
理 事	関根 達郎	2023 年 6 月 16 日	藤沢市健康医療部参事 兼地域医療推進課長
監 事	福井 聡	2023 年 6 月 16 日	公認会計士
監 事	鳥生 文子	2023 年 6 月 16 日	藤沢市会計管理者

※敬称略

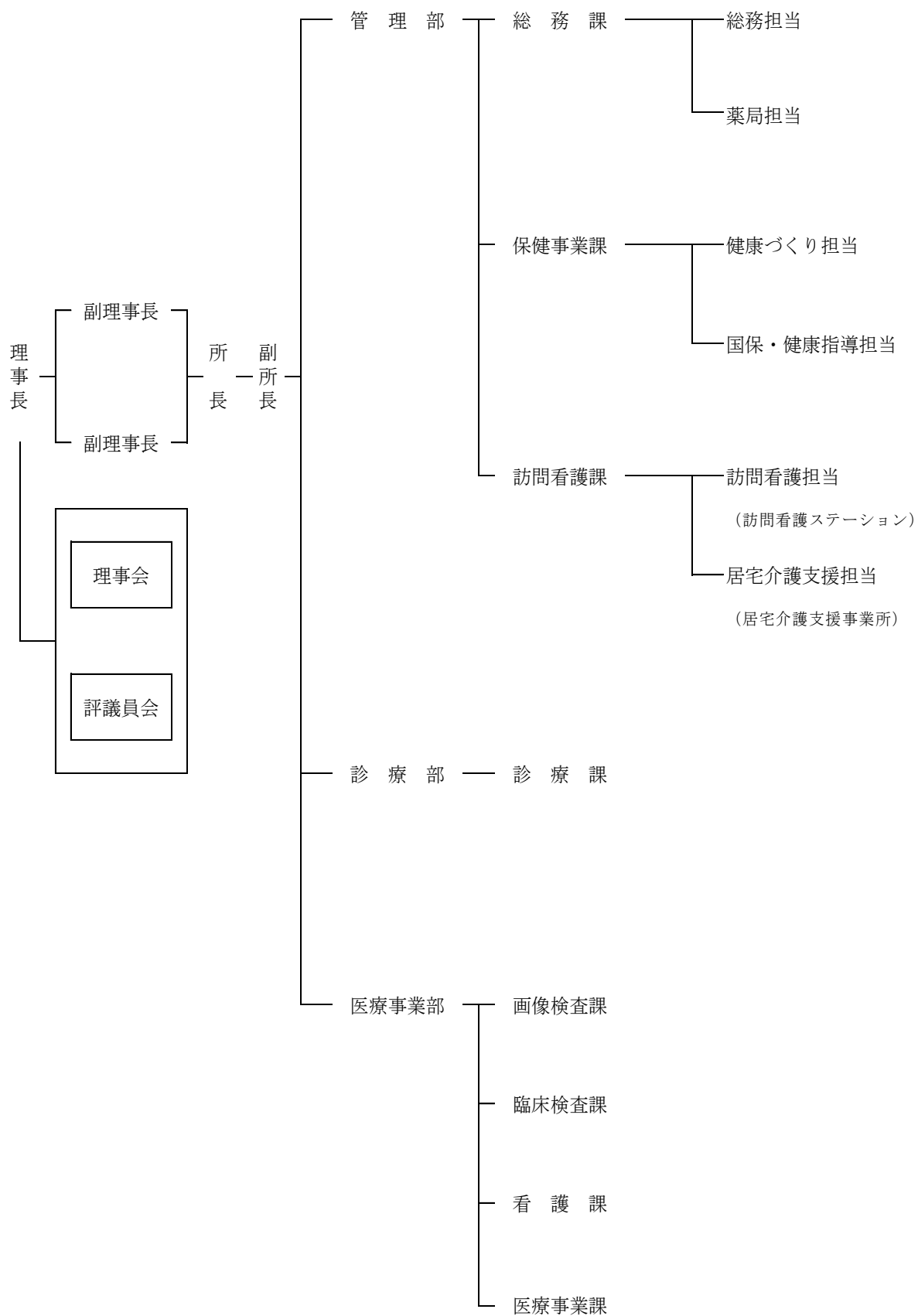
2 評議員（9人）

2024年3月31日現在

氏名	就任年月日	現職
捧 恵一	2023年6月16日	社会福祉法人竹生会（芭蕉苑施設長）
小熊 祐子	2023年6月16日	慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・ 大学院健康マネジメント研究科 准教授
亀津 絵里	2023年8月2日	藤沢市医師会代議員議長
山本 夏彦	2023年6月16日	藤沢市歯科医師会副会長
後藤 君代	2023年8月2日	藤沢市薬剤師会副会長
齋藤 直昭	2023年6月16日	藤沢市健康医療部長
村岡 哲也	2023年6月16日	藤沢商工会議所副会頭
川原田 武	2020年7月13日	藤沢市湘南大庭地区社会福祉協議会会長
信太 浩信	2023年4月1日	公益財団法人藤沢市みらい創造財団スポーツ・ 芸術文化事業部長

※敬称略

組織図



2024年度（令和6年度）事業計画
（2024年4月1日～2025年3月31日）

2024年（令和6年）3月
公益財団法人 藤沢市保健医療財団
〒251-0861 神奈川県藤沢市大庭5527番地の1
電話 0466-88-7300